

第18代団長誕生

令和3年4月1日付で消防団長に就任しました。藤吉研史と申します。昨年からの新型コロナウイルス感染症の影響で訓練や活動が思うようできない状態でした。10月に緊急事態宣言も解除となり、住民の生命財産を守るために、消



第18代 藤吉研史団長（65歳）

防団と消防本部の任務分担の再確認の放水訓練や避難誘導訓練が出来たことになりました。しかし、今後も気候変動の影響による自然災害の甚大化により、初動時は外部応援も受けられず本単独での救助活動が求められると思います。消防団員も、平均年齢が上がっていることや、会社勤めの消防団員の増加により、昼間の火災等の対応能力が懸念され、消防団を取り巻く環境は厳しさを増しているところ

令和3年4月1日付で、第18代の団長が誕生しました。今回は、新しい団長の経歴を始め今後の抱負について語っていただきました。



第15号
2021年12月発行
発行：大牟田市消防団予防委員会

経歴

昭和62年5月7日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和63年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和64年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和65年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和66年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和67年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和68年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和69年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和70年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和71年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和72年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和73年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和74年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和75年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和76年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和77年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和78年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和79年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和80年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和81年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和82年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和83年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和84年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和85年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和86年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和87年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和88年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和89年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和90年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和91年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和92年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和93年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和94年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和95年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和96年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和97年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和98年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
昭和99年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
令和元年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
令和2年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命
令和3年4月1日 大牟田市消防団 団員拝命

式次第タイムスケジュール

項目	場所	時間	内容
集合		08:30	・文化会館集合
第1部	大牟田文化会館	09:30	・観閲者臨場 ・開式のことば ・国歌斉唱※音楽のみ
		09:42	・慰霊黙とう ・出場人員報告
		10:12	・表彰（県知事、県消防協会長、市長、消防長、消防団長）
		10:17	・市長式辞
		10:22	・消防長訓示
第2部	笹井公園	10:22	・来賓紹介 ・来賓祝辞
		10:42	（国会議員、県知事、県消防協会長、市議会議員、官公庁代表）
		10:48	・消防団長挨拶 ・祝電披露
		11:20	・消火訓練 大牟田市婦人防火クラブ 【花火①】
		11:30	・通常点検 消防団（東部方面隊）
閉会		11:40	・車両点検 消防団（西部方面隊）
		11:50	・車両披露 ①羽山台分団 ②吉野分団第2部 ③中友分団
			④みなと分団第1部 ⑤みなと分団第2部
			消防団（南部方面隊） 【花火②】
			自衛消防隊（デンカ（株）、三井化学（株））
閉会		11:59	・訓練終了報告
		12:00	・観閲者退場

出初式を開催します

地域防災啓発訓練を開催

令和3年11月14日樋口町の上屋敷公園一帯で地域防災啓発訓練を実施しました。地域住民の生命・身体・財産を災害から保護し、その被害を軽減するため、地域住民と消防署・消防団・関係者相互連携のもとに防災意識を高め、地域の防災体制を構築することを目的として開催しました。この訓練は、秋の火災予防運動の一環として地域の皆様と一緒に本訓練を実施しました。

会場付近見取り図



大牟田市で震度5強の地震が発生し、建物火災が発生。地震により消火栓が使用不能となる状況下において、消防署・消防団が協力することにより、耐震性防火水槽を活用した火災防ぎ活動を実施する。また、倒壊危険のある住戸から住民の方を避難場所まで安全に誘導又は搬送を実施する。

訓練想定

参加団員の声



玉川分団 分団長 平川 裕人
11月14日地域啓発訓練に玉川分団として参加しました。コロナの影響により、分団はもとより、南部方面隊としての訓練は久しぶりとなりました。各動作を頭ではわかっていながら、なかなか体が思うように動かず、これからの訓練を行うにあたっての反省点は、いくつも上げられました。まずなにより市民の方の関心の高さに驚かされました。参加した団員にもいい経験だったのではないかと思います。無線では現場の状況がわかりにくかったので、伝令を確実にに行えばよかったことが反



省として上げられます。その場でわからないからといって、何もしないのではなく、無線、伝令、大声で声かけなど、この訓練を通しての反省点を分団全体で共有していきたいと思っています。天領分団 分団長 水永 敬一郎
地域防災啓発訓練では、久々の本格的な訓練という緊張感と地域の皆様の熱い視線に耐えられず、ミスを連発し、多くの課題が見つかりました。これを今後の団員育成に活かして分団のレベルアップに繋がりたいと思います。イオンモールでのPR活動は、皆和気あいあいと来場者の方々に消防団の魅力をお伝えすることが出来たと思います。特に車両展示の警備をして

編集後記

今回は、新しい団長の紹介と、消防団を取り組んだイベント、また参加した団員の声を紹介しました。これからも多くの団員の声を紹介しながら、消防団の取り組みを紹介していきます。

編集後記

反省と今後の課題
コロナ禍の影響もあり、訓練等活動が少なかつた為、いろいろな面で出来ていなかった。資機材の整備不良・取り扱いの忘れ・活動時の指差呼称などが目立っていた。全体的な指導としても同様な事を話されていた。今回の訓練を生かす為にも、日々の計画的な分団訓練を行い、火災が発生した時も、慌てずに行動できるよう準備をしておきたいと感じた。

編集後記

いる時は、多くの方に消防団活動についての質問等を受け、体験入団をしてみたいと言う方もお見えになりました。



わたしの街の消防団！

ゆめタウン 大牟田
イオンモール大牟田
で開催しました

消防団の加入促進イベントとして、十一月二十一日、ゆめタウン大牟田とイオンモール大牟田の二会場で開催しました。両会場とも様々な企画を行い、多くの皆様に参加していただく事ができました。

参加した消防団員の声を紹介します

ました。今回は、このイベントに携わった消防団員の声を紹介します。

ゆめタウン会場



イオンモール会場



吉野分団 椿原隆稀

今回私は初めてPRイベントに参加させていただきました。活動内容は景品受付、渡り担当やコロナウイルス感染防止のため、物品消毒などを主に担当しました。そこで小さいお子さんを連れた家族の方々と多く触れ合う機会がありました。他の場所でも握力対決、めんこ、けん玉等沢山の一般市民の方々と消防団員との交流がありました。また、屋外では消防車両の展示などもあり、多くのお子さんに興味を持って貰えたようで嬉しい気持ちです。そこでPRイベントを通して改めて、大牟田市の安心や安全、社会を守る力になりたいという思いになりました。そのためには自分たち消防団員の力はもちろん消防団に入らなくてもいい方々にも少しでも興味を持っていただき、是非自分たちと一緒に活動して欲しいと思いました。またこれからは私は大牟田市のために自分のやることを一生懸命頑張ろうと思います。また新型コロナウイルス感染に十分注意して

白川分団 三浦修

今回の消防団PRイベントに参加して、大変有意義な活動だったと感じました。市内・市外問わず多くの方にお越しいただき、消防団がどういったものか知ってもらえたかなと思います。また、消防団活動についての理解も得られたのではないかと思います。消防団と聞くと、昔はあまり良くない印象を持たれる方もいたそうです。しかし、地道に消防団活動をしてこられた先輩たちのお陰もあり、今では地域の安全のために無くてはならない存在になっています。消防団であるという自覚を持ち、火災現場・災害現場で少しでも役に立ちたいと思います。また、地域住民との交流を通じて「この地域には消防団がいるから安心」と言われるような、身近な消防団を目指したいです。

銀水分団 班長 鳥越健太

11月21日(日)にゆめタウン大牟田で行わ

羽山台分団 班長 松尾 茂

れた「突撃！私の街の消防団！PRイベント」に銀水分団第一部から、3名参加しました。当日は、消防団をPRするいろいろなブースや地域の方々と触れ合うゲームコーナーの中で、私たちは、昔遊びのコーナーとスタンプラリーを担当しました。子供を連れた家族、約200組ほどが来場され、ゲームを楽しんでくれました。子供さんがゲームをしている間にお父さん、お母さんに団員募集の案内をお渡しするなどして消防団員を募集していることをアピールしました。また、こういったイベントを良い思い出として参加してくれた子供たちが、大きくなって消防団に入ってくれるようになれば、持続性がある活動として大変意義があると思っています。大牟田の街を愛し、町を守る消防団員として、活動を共にしてくれる仲間が増えて一緒に活動できれば今以上に災害に強い街が出来ると思います。

手鎌分団 末藤 功

イオンモール大牟田にて消防団PRイベントが行われました。コロナも少し落ち着いてきた時期で、たくさんの子供連れの家族が訪れました。

消防車の車両展示では2、4歳くらいの子供達が大興奮し何度も何度も車輪に乗ったり、写真を撮ったりと普段では出来ないような体験をしていました。

お父さんお母さん達もコロナ禍でなかなか外出を懸念されてあったのちのイベントなので、たくさん笑顔が目立っていました。又、イオンモールの中でも複数の子供向けゲーム、スタンプラリー等でも、その場を離れたくない様な姿もたくさん見受けられました。たくさん家族に消防団及び消防団員の姿が記憶に残ったと思います。

消防団に対し、少しでも興味や関心を持つて頂けたらと願います。

明治分団 井上 博司

11月21日に行われた消防団イベントはイオンのお客さんが多かったおかげで、とてもにぎわいました。

私たち明治分団はボーリングコーナーにいたのですが、お客さんが多く、1つの時間帯を3人で回すのは無理があり、天の原分団と6人体制で行いました。今回は1つの分団6人以上の人数が必要だと思いましたが、また、このイベントで消防団に興味をもってくれた方が1人でも多くいてくれたらいいですね。

女性分団 部長 堀 郁恵

消防団PRイベント(イオン)に参加して短い時間ではありましたが地域の皆様とお話しさせて頂いて感じたことは、意外に消防団の日頃の活動を知って頂いていたり感謝の言葉が頂いたり出来た事がうれしかったです。小さいお子さんも将来消防士になりたい!!

消防自動車大好きです。

等とうれしそうに話してくれたり、とても充実した時間を過ごさせてもらえました。まだ女性分団としての活動は広く知られていませんが、これから活動は広げていきたいと思っています。

天の原分団 分団長 柿原 和彦

開始前のレクチャーにて2つのステージを3名で対応するのは難しいと感じた為、13時前より会場待機する。開始前15分くらいからメンコ・けん玉会場より数名の小学生がゲームを済ませてこちらに来たため待機してもらった。また明治分団が食事から戻らなかったため、会場設置開始、5分前より明治分団より2名来たためゲームを開始する。この時点で10名以上が待機していたためそのまま応援支援として担当することとなる。

30分経過したくらいで少し落ち着いてはきたが、とても3名での対応は不可能に近いくらい慌ただしかった。まずはスタンプリを打ちながら、次のステージ場所の説明に追われる。

ゲームでも倒れたピンを立てたり、ボールの消毒など、この時点で3名は必要。2レーンあるため6名と受付に2名と最低でも8名が必要となった。途中で伊津野分団長も対応に追われるほどとなる。

12時45分より15時スタンプラリーの用紙が無くなるまでは明治、天の原が付ききりの対応となった。反省点、対応人員の不足、ステージ会場の地図の準備、ピンがすぐ壊れたので補修用品の準備、記念品の問い合わせが多かったため見本品の展示が必要と思われた。